

第4地区南部の統計データ

人口動態

調査年	人口(人)	～14歳(人)	15～64歳(人)	65～74歳(人)	75歳以上(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	世帯平均人数(人)
H23.3	11,767	1,367	7,540	1,313	1,547	24.3	5,944	1.98
H27.3	11,368	1,256	7,031	1,567	1,514	27.1	5,659	2.01
H31.3	11,348	1,183	7,018	1,507	1,640	27.7	5,850	1.94

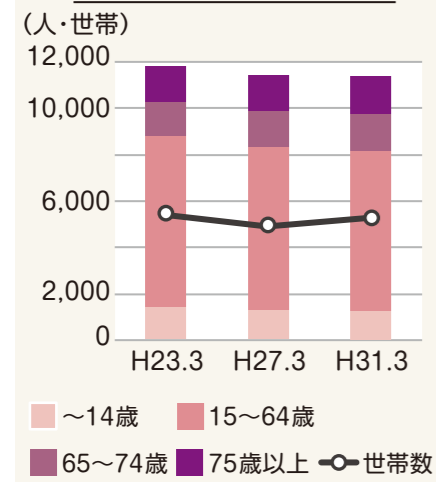


第4地区南部

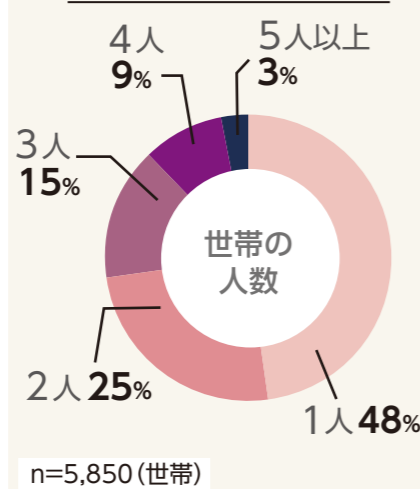
5年後の目指す姿

声がかけあえるまち
第4地区南部

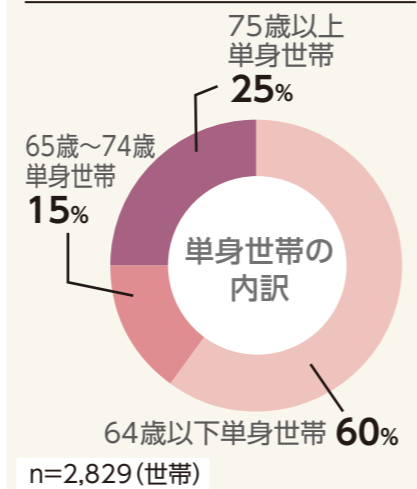
人口・世帯数の推移



世帯の状況 (H31.3現在)



単身世帯の状況 (H31.3現在)



世帯数・単身世帯の推移

調査年	世帯数(世帯)	単身世帯数(世帯)	単身世帯の割合(%)	65歳～74歳単身世帯(世帯)	75歳以上単身世帯(世帯)	65歳以上2人世帯(世帯)
H29.3	5,785	2,710	46.8	451	668	545
H31.3	5,850	2,829	48.4	437	692	559
R2.3	5,980	2,911	48.7	453	704	576

※人口・世帯データの出典は横浜市統計情報ポータルより

住民の居住年数

(H27 国勢調査より)

居住年数	人数(人)	割合(%)
出生時から居住	1,149	10.4
1年未満	545	4.9
1年以上5年未満	1,588	14.4
5年以上10年未満	1,360	12.3
10年以上20年未満	1,818	16.5
20年以上	2,793	25.3
居住期間「不詳」	1,770	16.1

データから見た第4地区南部

総人口は、平成27年からはほぼ横ばいですが、75歳以上の高齢者が増加しています。高齢化率も中区平均(23.4%)より高く、今後も上昇すると思われます。また、高齢者の単身世帯が多く、65歳以上の2人暮らしの世帯を加えると、全世帯の約3割が高齢者のみの世帯となっています。

住民の居住年数を見ると、20年以上という割合が高く、長くこの地区に住み続けている住民が多いことが分かります。

令和元年の区民意識調査では、「自治会町内会への加入」について回答者の75.2%(n=109)が加入していて、地域活動への参加率も他地区に比べ、高い割合を示しています。

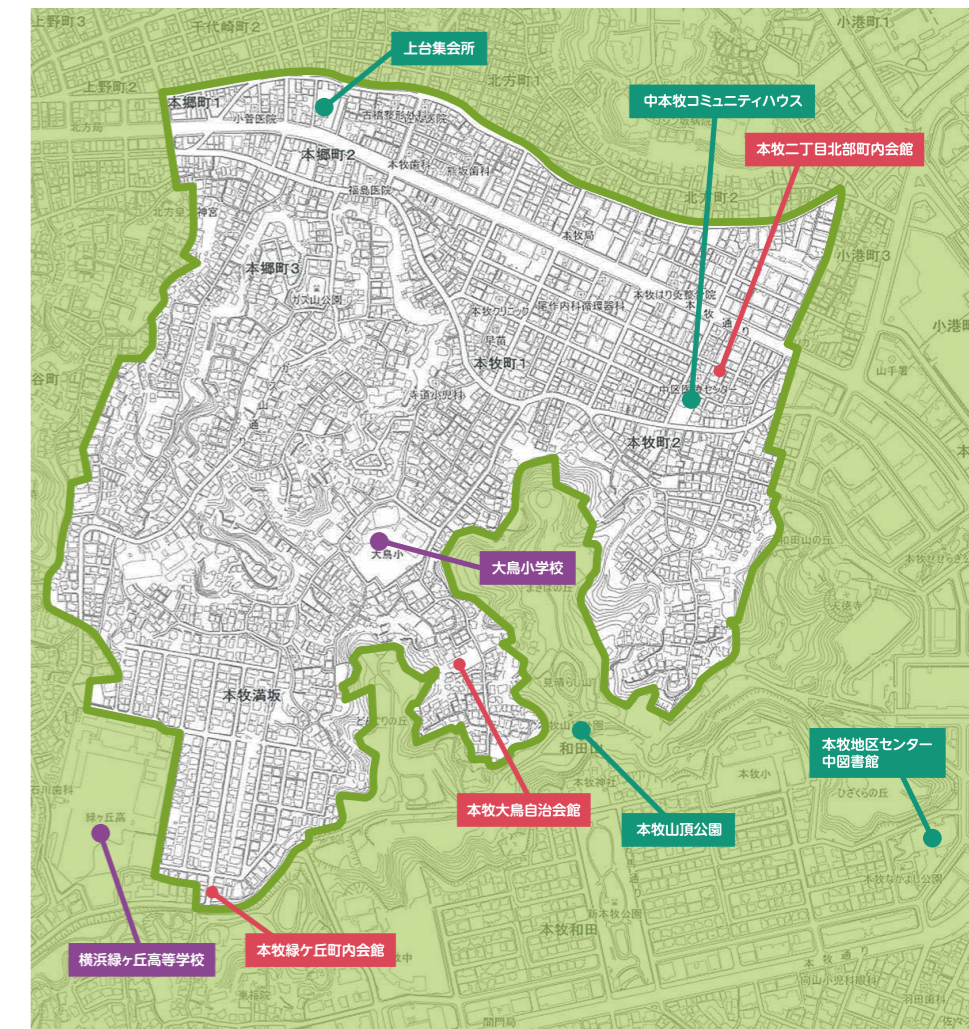


大運動会 ▲

Honmoku Halloween 仮装パレード ▲

第4地区南部はこんなまちです

開港前からの歴史と戦後のアメリカ文化の影響を受けた独特の本牧文化が形成されています。旧路面電車の通っていた本牧通りには現在では市営バスが頻繁に通る、住民の主要な交通機関となっています。また、急な坂や階段の多い住宅地と平地の商店街エリアからなり、住民が住んでいる場所の大半は丘陵地となっており、高齢者や障害者などの負担となっています。住民同士のきずなは深く、地域でのお祭りやイベントが盛んに行われています。



本郷町・本牧町・本牧満坂・本牧荒井の一部

これまでの計画(第3期)の振り返り

こどもから高齢者まで幅広い世代が参加するイベントを通して、多世代のつながりが深まりました。

横浜マリンFMやSNSなどの様々なツール、ミニサロンや食事会の集まりの場を通して必要な情報を必要な人に提供することができました。

より身近な範囲で、地域に密着したミニサロンや健康教室、防災の取組が進み、近隣住民のつながりが深まりました。



第4期計画はこのようにつくりました

「本牧4南元気なまち運営委員会」でグループワークやアンケートを実施し、地域活動を振り返りました。また、令和2年度に開催されたいきいきゼミナール(計3回)の意見も参考にしました。



Honmokuハロウィン仮装パレード

nakanaka photo

第4期計画



目標	第4期の取組	取り組む理由	視点
もっと地域活動を知って、参加してもらって、地域のつながりを作ります。	<ul style="list-style-type: none"> マリンFMやSNSなど様々な情報媒体を活用し、地域情報を伝えていきます。 地域活動の担い手が減っている中で、負担感なく活動できるよう、方法を工夫して、交流する機会を持ち続けていきます。 活動している団体同士が連携し、お互いの利点を生かした活動をしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> LINEなどの新しい情報ツールの活用が始まっている一方、個々の活動が知られていないため、ひとりひとりに情報を伝え、広げていきたい。 活動の担い手や参加者が減っている。活動内容を見直すことも必要。 イベントを通して仲間を作ることで、お互いに元気であるかを感じあえる。 子どもから大人まで交流できるようになるとよい。 活動している団体同士で連携できる場所もあるのではないかな。 	えん結び
誰もが声をかけ合えるまちにしていきます。	<ul style="list-style-type: none"> 住民や地元企業を対象に認知症の理解を深めてもらい、認知症になっても暮らしやすいまちにしていきます。 より身近な範囲での住民同士のつながりを目指し、サロン等を行います。 企業と住民が連携し、ゆるやかに見守る地域づくりに取り組みます。 防災訓練やイベント等に障害のある方や外国人などいろいろな人が参加できるよう声をかけます。 身近な生活環境を良くするよう声をかけあって考えていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の理解が進んできた。 地域のラジオ体操やミニサロン等でゆるやかな見守りが行われている。 困ったことを助け合える地域になるとよい。 全ての人が、顔見知りになっているとよい。 地域で子どもを育てる環境になるとよい。 まちの美化に取り組みたい。 	えん結び
一人一人が自分に合った健康づくり・つながりづくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> 多世代が参加できるふれあいウォークや大運動会等で、健康づくりを進めます。 日ごろからウォーキングやラジオ体操等、身近な場所で、誰もが健康づくり・つながりづくりに参加できる機会をつくります。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のラジオ体操やウォーキングを通じて、近くの人と知り合えるとよい。 幅広い世代が交流できるイベント、防災や集まって行う健康づくりの取組に力を入れたい。 	元気いっぱい

第4地区南部

5年後の目指す姿

声がかけあえるまち
第4地区南部

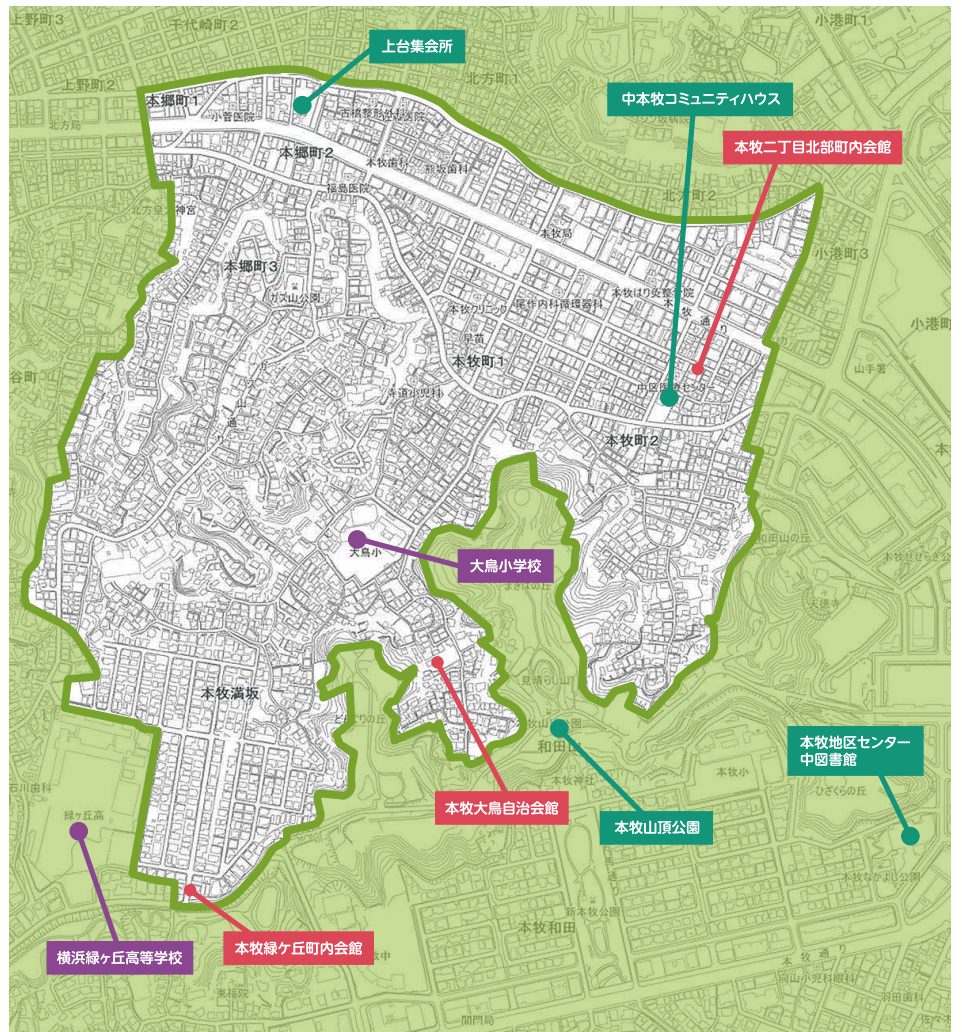


大運動会 ▲

Honmoku Halloween 仮装パレード ▲

第4地区南部は こんなまちです

開港前からの歴史と戦後のアメリカ文化の影響を受けた独特の本牧文化が形成されています。旧路面電車の通っていた本牧通りには現在では市営バスが頻繁に通る、住民の主要な交通機関となっています。また、急な坂や階段の多い住宅地と平地の商店街エリアからなり、住民が住んでいる場所の大半は丘陵地となっており、高齢者や障害者などの負担となっています。住民同士のきずなは深く、地域でのお祭りやイベントが盛んに行われています。



本郷町・本牧町・本牧満坂・本牧荒井の一部

これまでの計画(第3期)の振り返り

こどもから高齢者まで幅広い世代が参加するイベントを通して、多世代のつながりが深まりました。

横浜マリンFMやSNSなどの様々なツール、ミニサロンや食事会の集まりの場を通して必要な情報を必要な人に提供することができました。

より身近な範囲で、地域に密着したミニサロンや健康教室、防災の取組が進み、近隣住民のつながりが深まりました。



第4期計画

目標	第4期の取組
<p>もっと地域活動を知って、参加してもらって、地域のつながりを作ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● マリンFMやSNSなど様々な情報媒体を活用し、地域情報を伝えていきます。 ● 地域活動の担い手が減っている中で、負担感なく活動できるよう、方法を工夫して、交流する機会を持ち続けていきます。 ● 活動している団体同士が連携し、お互いの利点を生かした活動をしていきます。
<p>誰もが声をかけ合えるまちにしていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民や地元企業を対象に認知症の理解を深めてもらい、認知症になっても暮らしやすいまちにしていきます。 ● より身近な範囲での住民同士のつながりを目指し、サロン等を行います。 ● 企業と住民が連携し、ゆるやかに見守る地域づくりに取り組みます。 ● 防災訓練やイベント等に障害のある方や外国人などいろいろな人が参加できるよう声をかけます。 ● 身近な生活環境を良くするよう声をかけあって考えていきます。
<p>一人一人が自分に合った健康づくり・つながりづくりを進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 多世代が参加できるふれあいウォークや大運動会等で、健康づくりを進めます。 ● 日ごろからウォーキングやラジオ体操等、身近な場所で、誰もが健康づくり・つながりづくりに参加できる機会をつくります。

第4期計画はこのようにつくりました

「本牧4南元気なまち運営委員会」でグループワークやアンケートを実施し、地域活動を振り返りました。また、令和2年度に開催されたいきいきゼミナール(計3回)の意見も参考にしました。



Honmoku Halloween 仮装パレード

nakanaka photo



取り組む理由

視点

- LINEなどの新しい情報ツールの活用が始まっている一方、個々の活動が知られていないため、ひとりひとりに情報を伝え、広げていきたい。
- 活動の担い手や参加者が減っている。活動内容を見直すことも必要。
- イベントを通して仲間を作ることで、お互いに元気であるかを気づかいあえる。
- 子どもから大人まで交流できるようになるとよい。
- 活動している団体同士で連携できるところもあるのではないか。

えん結び

- 認知症の理解が進んできた。
- 地域のラジオ体操やミニサロン等でゆるやかな見守りが行われている。
- 困ったことを助け合える地域になるとよい。
- 全ての人が、顔見知りになっているとよい。
- 地域でこどもを育てる環境になるとよい。
- まちの美化に取り組みたい。

えん結び

- 地域のラジオ体操やウォーキングを通じて、近くの人と知り合えるとよい。
- 幅広い世代が交流できるイベント、防災や集まって行う健康づくりの取組に力を入れたい。

元気いっぱい

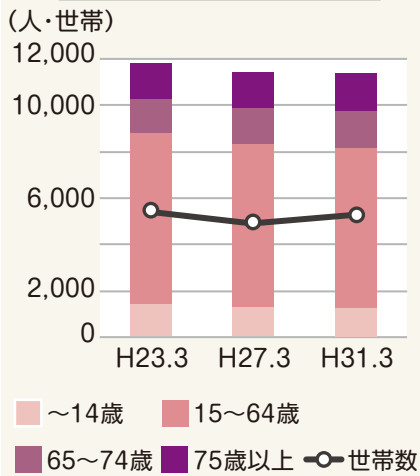
えん結び…見守り力を高める取組 元気いっぱい…健康づくりの取組

第4地区南部の統計データ

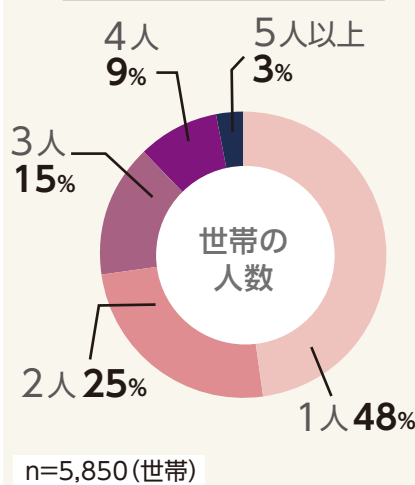
人口動態

調査年	人口(人)	～14歳(人)	15～64歳(人)	65～74歳(人)	75歳以上(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	世帯平均人数(人)
H23.3	11,767	1,367	7,540	1,313	1,547	24.3	5,944	1.98
H27.3	11,368	1,256	7,031	1,567	1,514	27.1	5,659	2.01
H31.3	11,348	1,183	7,018	1,507	1,640	27.7	5,850	1.94

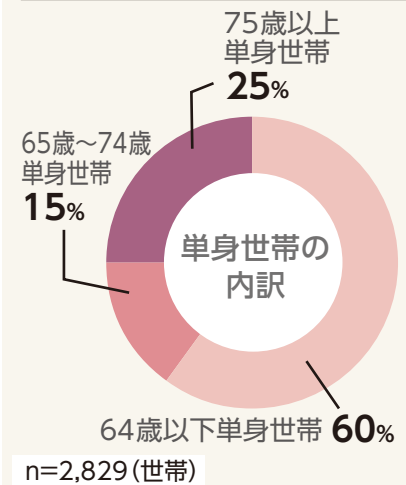
人口・世帯数の推移



世帯の状況 (H31.3現在)



単身世帯の状況 (H31.3現在)



世帯数・単身世帯の推移

調査年	世帯数(世帯)	単身世帯数(世帯)	単身世帯の割合(%)	65歳～74歳単身世帯(世帯)	75歳以上単身世帯(世帯)	65歳以上2人世帯(世帯)
H29.3	5,785	2,710	46.8	451	668	545
H31.3	5,850	2,829	48.4	437	692	559
R2.3	5,980	2,911	48.7	453	704	576

※人口・世帯データの出典は横浜市統計情報ポータルより

住民の居住年数

(H27 国勢調査より)

居住年数	人数(人)	割合(%)
出生時から居住	1,149	10.4
1年未満	545	4.9
1年以上5年未満	1,588	14.4
5年以上10年未満	1,360	12.3
10年以上20年未満	1,818	16.5
20年以上	2,793	25.3
居住期間「不詳」	1,770	16.1

データから見た第4地区南部

総人口は、平成27年からはほぼ横ばいですが、75歳以上の高齢者が増加しています。高齢化率も中区平均(23.4%)より高く、今後も上昇すると思われます。また、高齢者の単身世帯が多く、65歳以上の2人暮らしの世帯を加えると、全世帯の約3割が高齢者のみの世帯となっています。

住民の居住年数を見ると、20年以上という割合が高く、長くこの地区に住み続けている住民が多いことが分かります。

令和元年の区民意識調査では、「自治会町内会への加入」について回答者の75.2%(n=109)が加入していて、地域活動への参加率も他地区に比べ、高い割合を示しています。